

## 分布上顕著な新津の植物(7)

石 沢 進

## 1. 新津丘陵における新潟県絶滅危惧種の分布

新津丘陵における新潟県絶滅危惧種の分布を経年ごとに監視し、あらたに追加した種を記録している。本年はその7年目にあたり、現状を以下に表示する。

絶滅危惧I類 (EN)	01	02	03	04	05	06	07
マルバノサワトウガラシ 環境庁：EN						○	
オミナエシ							
キキョウ 環境庁：VU							
イトトリゲモ 環境庁：EN							○
トケンラン 環境庁：EN							
クマガイソウ 環境庁：VU							
絶滅危惧II類 (VU)							
タチシノブ						○	○
イノモトソウ					○	○	○
タニイヌワラビ					○	○	○
ハシゴシダ						○	○
ヒメカナワラビ						○	○
サネカズラ			○			○	○
ハンゲショウ			◎	◎	○	○	○
ヒゴスミレ							
カラタチバナ			○			○	○
ハイハマボス 環境庁：VU	○	○	○	○	○	○	○
ヤナギスブタ 環境庁：VU							
ヤマトミクリ 環境庁：VU	○	○	○	○	○	○	○
エビネ 環境庁：VU					○		
キンラン 環境庁：VU				○			
ホクリクムヨウラン	○	○			○	○	○
ヒトツボクロ	○	○			○	○	○
準絶滅危惧 (NT)							
ウラジロ	○			◎			○
ミズワラビ			○	○		○	
オオバノハチジョウシダ	○		○	○	○	○	○
ツルデンダ	○		○	○	○	○	○
コシノカンアオイ	○	○	○	○	○	○	○
ヤガミスゲ			○	○	○	○	○
地域個体群 (LP)							
コバノヒノキシダ						○	○
アカガシ	○	○	○	○	○	○	○
ウラジロガシ	○	○	○	○	○	○	○
フユイチゴ		○	○	○		○	○
ミヤマフユイチゴ			○	○	○	○	○
ソヨゴ	○	○	○	○	○	○	○
ヒメヨツバムグラ	○	○	○	○	○	○	○
シラスゲ		○	○	○	○	○	○
その他絶滅危惧種対象種							
マツグミ						○	○
キクモ						○	

◎確認情報による

## 2. 新津丘陵における絶滅危惧種の分布追加および動向

以下資料記載にあたり、次の略号を使用している。

[略号] IS:石沢の標本;TY:登坂裕一、IS・TY後の数字は標本番号で新津資料室に保管;('07):2007年の標本採集年あるいは写真撮影年;Photo:写真資料;Photo後の数字は写真ネガ番号あるいはデジカメ撮影番号;[8桁の数字など]:地形図座標(環境省3次メッシュアップあるいは5万分一地形図番号)

ウラジロ *Gleichenia japonica* Spreng. [写真 1] ウラジロ科

秋葉区東島 金津排水場下 70m:TY-31124 ('07, IS-Photo OL071222-71) [新津 391375-33,環境省3次メッシュ5639-51-20]

2001年に丘陵にウラジロの分布を確認し、その生育地が消滅して以来、発見できないでいた。登坂裕一氏の案内で2007年にその生存が確認できた。ススキ草原縁の北向急斜面に生え、シシガシラ、ゼンマイ、ヒカゲノカズラが混生していた。3葉のみで、つながりは確認しなかったが、生え方からみておそらく1株だけであろう。この生育地の他、次の分布も登坂氏により確認されている。

秋葉区金津 菩提寺山 140m:TY-31080 ('07) [新津 391375-32,環境省3次メッシュ5639-41-80]

落葉樹とスギの混生した林下、西向岸壁に生え、ハリガネワラビ、シシガシラ、ヒメワラビが混生していた。芽立ちも含め数葉出ているが、すべてつながっているの1株だけ生えていたと思われる。岸壁には他に、トウゴクシダ、ゼンマイ、ヤマイタチシダが生えていた。

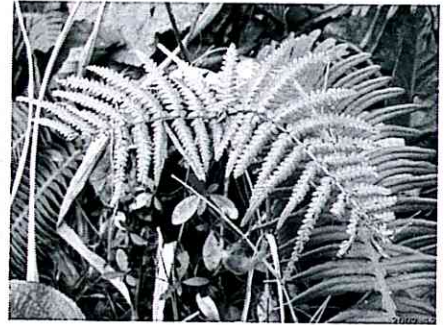


写真 1 ウラジロ ('07 12/22)

イノモトソウ *Pteris multifida* Poir. [写真 2] イノモトソウ科

秋葉区小口秋葉公園<小口道>50m:IS-417840 ('07 Photo OL071102-10~12)

秋葉公園内で2005年に分布を確認しているが、新たに別な生育地を追加。



写真 2 イノモトソウ ('07 11/2)

イトトリゲモ *Najas japonica* Nakai [写真3-1] イバラモ科

秋葉区金津 白玉の滝(下) 30m: IS-416552 ('07 Photo 3704-15A~19A) [新津 5639-40-89]

2006年に県内における分布を掲載したが、2007年には、秋葉区の生育を確認した。ここでは休耕田脇の水溜りにホッスモ(IS-416553 [写真3-2])と共存している。

エビネ *Calanthe discolor* Lindl. [写真4-1・2] ラン科

新潟市小口: ('07 IS-Photo OL070524-30・34)

新津地区の分布は2006年の再確認でしたが、2007年に同じく小口で別の群落があり、開花個体を確認している。野生ランの趣味家により、自生種が乱獲されることが多く、絶滅しないように保護しておきたいものである。新津地区での分布は再確認である。



写真 3-1 イトトリゲモ  
×16 撮影 ('07 9/24)



写真 3-2 ホッスモ ×16 撮影  
('07 9/24) [イトトリゲモと同所分布]



写真 4-1 エビネ 開花株  
('07 5/24)



写真 4-2 エビネ 花 ('07 5/24)

マルバノサワトウガラシ *Deinostema adenocaulum* (Maxim.) Yamasaki ゴマノハグサ科

新潟県絶滅危惧Ⅰ類(EN); 環境庁絶滅危惧ⅠB類(EN)であり、2007年には、新津地区蒲ヶ沢での分布について確認できなかった。

マツグミ *Taxillus kaempferi* (DC.) Danser

ヤドリギ科

本種は、新潟県の絶滅危惧種として取り上げていないが、県内稀産であって改訂時には追加すべき種である。2006年にアカマツの枝にも多数寄生していることが明らかとなり、2007年にも同様の生育状況であるが、さらに特記する発見があり、詳細については37頁に掲載。

キクモ *Linnophila sessiliflora* Blume

ゴマノハグサ科

本種も新潟県の絶滅危惧種として取り上げていないが、個体数が減少して絶滅が危惧される一種とみなされる。2006年に新津で初めて確認されたが、2007年には再確認できなかった。

なお、シダ植物のミズニラは、2007年に生育を確認できなかった。

[注記]

トケンラン *Cremastra unguiculata* (Finet) Finet

ラン科

環境庁・新潟県ともに絶滅危惧Ⅰ類(EN)としているが、新津丘陵に関する分布情報として、1966年の採集記録が残されている。当時、国立科学博物館で全国対象に植物のおし葉展を毎年開催し、全国各地の情報収集に当たっていた。その出品記録が下記のような標本によっている。40年前の記録であり、その後発見されていないので、新津丘陵から絶滅した可能性が高い。

新津のトケンラン：坪谷富男 第30回 おし葉展出版目録 34頁(1966)

### 3. 新津丘陵における新産種

2007年の調査で新津丘陵に新たな分布の追加を以下に掲載する。

[在来種]

アスカイノデ *Polystichum fibrillosa-paleaceum* (Kodama) Tagawa [写真 5-1~5] オシダ科

新潟:新潟市秋葉区田家3丁目 20m:TY- ('07 IS-418075, Photo OL071222-25~30・OL071223-18~22)  
登坂氏と同行して、分布を確認した。新潟県では、分布の稀なシダ植物である。



写真 5-1 アスカイノデ ('07 12/22)



写真 5-2 アスカイノデ  
葉身中部 ×7撮影 ('07 12/22)



写真 5-3 イノデ 葉身中部  
×7撮影 ('07 12/22)

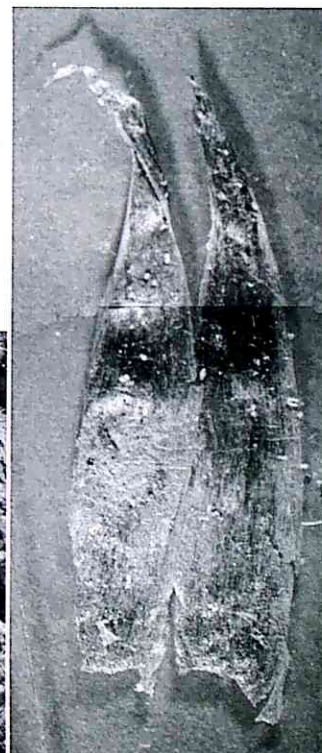


写真 5-4 アスカイノデ 葉柄  
基部鱗片 ×7撮影 ('07 12/22)



写真 5-5 イノデ 葉柄基部  
鱗片 ×7撮影 ('07 12/22)

写真 5 アスカイノデとイノデの比較

イヌビワ *Ficus erecta* Thunb. [写真 6-1・2] クワ科  
 新潟：秋葉区秋葉山 50m:IS-414432 ('07 IS-Photo OL070521-48・48・3691-12・14) [新津 5639-51-31]  
 関東地方以西に分布する南の植物であるが、新津丘陵に生えている。人家に近くて個体数も少ないので、種苗による逸出とみられる。

イシミカワ *Persicaria perfoliata* (L.) H.Gross [写真 7] タデ科  
 新潟：秋葉区田家 秋葉墓地 50m: ('07 IS-Photo OL070923-38・39) [新津 5639-51-21]

ウマノスズクサ *Aristolochia debilis* Siebold et Zucc. [写真 8] ウマノスズクサ科  
 新潟：秋葉区秋葉山 50m: IS-414890 ('07 IS-Photo OL070702-16・17・OL071005-5) [新津 5639-51-31]

コミカンソウ *Phyllanthus urinaria* L. [写真 9-1・2] トウダイグサ科  
 新潟：秋葉区金津 白玉の滝 (下) 30m:IS-416532 ('07 Photo OL070924-48・49・3704-20A・22A・23A) [新津 5639-40-89]

2006年に阿賀野市笹神勝屋 1361 <加藤泰助氏>宅に分布を記録したが、新津丘陵の白玉の滝下のアヤマ園の中に生えているのを確認した。9月に確認したが、10月に除草を行ったために、すべて抜き取られて、その後の訪問では、発見できなかった。

センブリ *Swertia japonica* (Schult.) Makino [写真 10-1・2] リンドウ科  
 新潟：秋葉区草水2丁目 20m: IS-416000-2 ('07 Photo OL070918-1・OL071002-1・OL071023-23~27) [新津 5639-51-31]

オオナンバンギセル *Aeginetia sinensis* G.Beck ハマウツボクサ科  
 新潟：秋葉区  
 久原泰雅氏の発見であり、詳細は36頁に掲載。

ヨメナ *Kalimeris yomena* Kitam. [写真 11] キク科  
 新潟：秋葉区秋葉山 50m: IS-417826 ('07 IS-Photo OL071120-6~8) [新津 5639-51-41]  
 新潟：秋葉区小口 15m: IS-417850 ('07)

イトトリゲモ *Najas japonica* Nakai イバラモ科  
 本種については、「2. 新津丘陵における絶滅危惧種の分布追加および動向」の項に掲載。

#### [帰化植物]

オオセンナリ *Nicandra physalodes* (L.) Pers. [写真 12-1・2] ナス科  
 新潟：秋葉区草水2丁目 20m:IS-416020 ('07 Photo-OL07909-81~85・90・91) [新津 5639-51-31]

アメリカイヌホオズキ *Solanum americanum* Mill. [写真 13] ナス科  
 新潟：秋葉区田家 秋葉墓地 40m:IS-416526・417860 ('07 Photo OL0711124-9・10) [新津 5639-51-21]

## 4. 新津丘陵における稀産種

アワゴケ *Callitriche japonica* Engelm. ex Hegelm. [写真 14-1・2・3・4] (アワゴケ科)

新津丘陵におけるアワゴケの分布は、朝日の普段寺だけに分布を確認し、分布の少ない種と思っていたが、コケの管理の行き届いた庭などを注意深く観察すると、各所で生育していることが分かった。生育に適した条件と見られるところを探索した結果、新津丘陵でも新たに蒲ヶ沢、金津山眼寺、小口などに分布を確認した。

新津と同じような観点で県内各地を調べた結果、上越、中越、下越、佐渡の全てに分布し、さらに詳細に調査すれば、かなり



写真 14-1 秋葉区普談寺 20m ('07 5/1) 写真 14-2 秋葉区蒲ヶ沢 20m ('07 6/26) 写真 14-3 秋葉区山眼寺 20m ('07 9/5)



写真 14-4 秋葉区小口 ('07 10/6)

広域に生育している可能性が高くなった。これまで確認できた分布地点を打点して分布図を作成してみた(分布図参照)。

## [分布資料]

新潟市秋葉区朝日普談寺 20m:IS-Photo-OL07413-1・16・17・18・19・OL07501-5・7・3686-1A・2A ('07) [新津 5639-51-10]; 金津蒲ヶ沢八幡山 (埋蔵文化財脇) 20m:IS-414795 ('07 Photo-OL070726-6・7・3696-1・2・3・4・5・22・23・24・E・3698-19・21-22・23・24・E) [新津 5639-50-09]; 金津山眼寺 20m:IS-415872 ('70 Photo-OL070905-39・40・41・37 03-11A・12A) [新津 3539-50-09]; 小口 97920m:IS-417251 ('07 Photo-OL071006-38・39・3707-21・22・24・25 ('07) [新津5639-51-22]

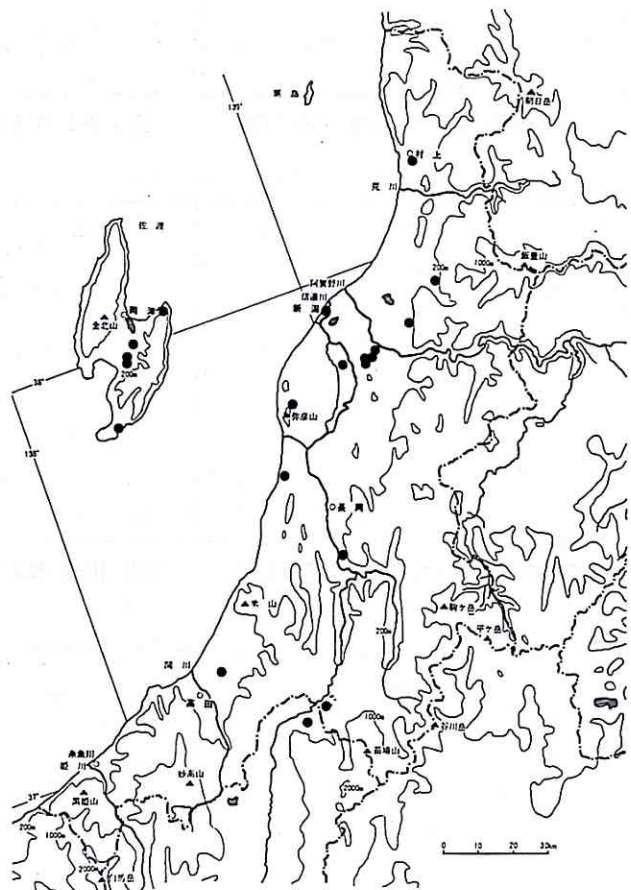
中央区西堀 8勝楽寺 0m:IS-OL070805-5・6・7・9 ('07) [新潟 5639-70-13]

味方笹川邸 5m:IS-417630 ('07 Photo OL071026-45・46・3709-18・24・E) [新津 5639-50-21]

西蒲区岩室石瀬 (種月寺) 20m:IS-416269 ('07 Photo OL070913-31-35) [弥彦-5638-46-67]

村上市門前耕雲寺 90m: ('07 IS-Photo-070809-11・12・13・3696-12-14) [塩野町 5739-24-34]

新発田市小戸 65m:IS-415827 ('07 Photo-OL070903-91-93) [新発田 5639-63-42]



アワゴケの新潟県における分布



写真 6-1 イヌビワ ('07 5/21)



写真 6-2 イヌビワ 果実 ('07 5/21)



写真 7 イシミカワ ('07 9/23)



写真 8 ウマノスズクサ ('07 7/2)



写真 9-1 コミカンソウ ('07 9/24)

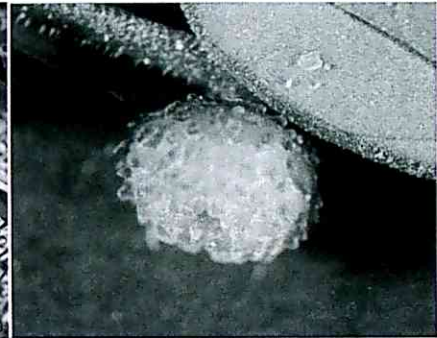


写真 9-2 コミカンソウ 果実 ('07 9/24)



写真 10-1 センブリ 花 ('07 10/23)



写真 10-2 センブリ 幼苗 ('07 10/2)



写真 11 ヨメナ ('07 11/20)



写真 12-1 オオセンナリ 花 ('07 10/23)



写真 12-2 オオセンナリ 果実 ('07 10/23)

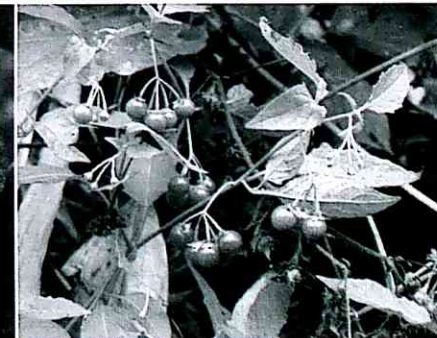


写真 13 アメリカイヌホオズキ ('07 11/24)

- 阿賀野市笹神勝屋 30m: IS-415166 ('07 Photo-OL070720-67・68・69) [津川 5639-52-94]  
 三島郡出雲崎町沢田(鳥崎川右岸) 20m: IS-415165 ('07 Photo-OL070719-56-60) [出雲崎 5638-25-58]  
 小千谷市穉生山寺(関省吾氏宅) 75m: IS-416900 ('07 Photo-3706-1~4) [小千谷 5538-76-65]  
 中魚沼郡津南町谷内(内山緑氏宅) 450m: IS-415608 ('07 Photo-OL070825-17~217) [苗場山 5538-35-70]  
 上越市三和錦 16m: IS-416272 ('07 Photo-127・128) [高田東部 5538-52-67]  
 佐渡市下久知正覚寺 20m: 渡辺洋子, IS-415080 ('07 :Photo-OL070714-115・116) [(両津) 5738-03-67]  
 真野阿佛坊妙宣寺 50m: 渡辺洋子, IS-415602 ('07 Photo-OL070824-79~83) [畑野 5638-03-60]; 竹田太運寺 70m:  
 渡辺洋子, IS-415603 ('07 Photo-OL070824-86~89・91・92) [畑野 5638-03-50]  
 新穂北方立蓮寺 36m : 渡辺洋子, IS-418138 ('07) [(畑野) 5738-07-14]  
 畑野長谷長谷寺 130m: 渡辺洋子 ('07) [(両津) 5638-03-63]  
 小木元小木海潮寺 30m: 渡辺洋子, IS-417981 ('07 Photo 3717-18A~20A) [(小木) 5638-52-71]

- 山形県山形市東原町もみじ公園(清風荘) :Photo-OL070620-8・12・13・21 ('07)  
 長野県下水内郡栄村野口 530m: IS-415025 ('07 Photo-OL070707-10) [苗場山 5538-34-35]

#### [文献による産地]

- 岩船郡粟島浦村粟島:野田光蔵(1969) 越後の植物誌Ⅱ:126  
 新潟市秋葉区朝日観音山 15m: 石沢進(監修) 越後新津丘陵 里山の植物:288,新潟県緑化都市緑化センター  
 柏崎市川内:岩野俊逸(1974) 吉川標本目録:52 新潟大学教育学部高田分校生物学教室  
 高田市:岩野俊逸(1974) 同上  
 佐渡相川町小川:北見秀夫(1963) 佐渡博物館研究報告 第5集:83 ;佐渡(相川):野田光蔵(1969) 越後の植物誌Ⅱ:  
 126

新潟県における本種の分布は、上記のように上・中・下越と佐渡と全域にあり、植物体が小さいので認識し難いが、注意深く観察することにより、産地が追加されると思われる。これまでの調査で、県内では津南町の海拔450mが最高である。

なお、本種の果実は開花後早く成熟するようであり、多くの個体では9月頃に良く見かける。種子からの発芽は、一般的には春先であろうが、新潟市の味方では、10月下旬にも芽生えて双葉の状態にあることも見られた。

#### 5. 新津丘陵における植物群落の消滅

新津丘陵は、低海拔地で気候条件から暖温帯地域であると見られている。しかし、温帯地域に広く分布するブナの小群落がお茶山に分布し、貴重な存在であることを指摘してきた(石沢 2005)。一昨年の地滑りにより、お茶山の小須戸側が崩壊し、さらに崩れる可能性が高いとの判断で、山頂に生えていたブナをすべて切り倒し、山頂部を削り取ってしまった。従って山頂部のブナ小群落は全て消滅してしまった。新津の貴重な植物群落の消失は極めて残念なことである。天災とは言え、自然環境に配慮する工夫が理解されなかったことに無念でならない。この群落の特色については、更に別項に記録してある(37頁)。

石沢 進(2005) 分布上顕著な新津の植物(4) 新津植物資料室年報 2004:2. (新津丘陵におけるブナの分布)

#### 6. 新津丘陵における栽培種の逸出と繁茂

キウイフルーツ(シナサルナシ) *Actinidia chinensis* Planch. [写真 15] マタタビ科

新潟:秋葉区秋葉山 40m: ('07 IS-Photo OL070911-26) [新津 5639-51-41]

種子から芽生えて生長したとみられ、30cmほど伸びた状態であるが、生育は良好のようで次年度は旺盛に伸びそうである。

コムラサキシキブ *Callicarpa dichotoma* (Lour.) K.Koch [写真 16] クマツヅラ科

新潟:秋葉区秋葉山 40m: ('07 IS-Photo OL070911-51) [新津 5639-51-41]

本来湿地に自生する植物であるが、近年庭木として広く栽培されており、鳥などの採食により、その逸出したものとみられる。樹林内に種子から結実するまでに育っている。

ボタンクサギ *Clerodendrum bungei* Steud. 65(1):176 [写真 17] クマツヅラ科

新潟:秋葉区秋葉山 40m: ('07 ) [新津 5639-51-41]

レモンバーム (セイヨウヤマハッカ) *Melissa officinalis* L. [写真 18] シソ科  
新潟：秋葉区秋葉山 20m:IS-414894 ('07 IS-Photo 3700-1A) [新津 5639-51-41]  
石垣や水路沿いのブロックの隙間などに根を張って広がっている。

ホトトギス *Tricyrtis hirta* (Thunb.) Hook. [写真 19] ユリ科  
新潟：秋葉区秋葉山 20m: ('07 IS-Photo OL070911-49) [新津 5639-51-41]  
庭に蔓延った苗を抜いて捨てたか、或いは種子で繁茂したと見られる株が道路わきの樹林に生育している。開花を確認していないが、良好に生育している。



写真 15 キウイフルーツ ('07 9/11)



写真 16 コムラサキシキブ ('07 9/11)



写真 17 ボタンクサギ ('07 11/20)

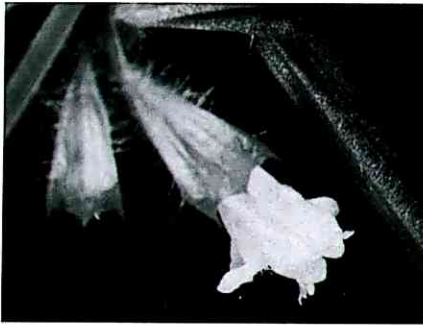


写真 18 レモンバーム ('07 7/3)



写真 19 ホトトギス ('07 9/11)

## 7. 新津丘陵の周辺地域における追加植物

[絶滅危惧種]

ホザキノフサモ *Myriophyllum spicatum* L. [写真 20-1・2] アリノトウグサ科

新潟：新潟市秋葉区阿賀浦大安寺 阿賀野川 5m:IS-416616・416640・417499 ('07 Photo-OL071016-12・16) [新津 5639-51-63]

阿賀野川の砂取りで作られた止水域に群生している。



写真 20-1 ホザキノフサモ ('07 10/16)



写真 20-2 ホザキノフサモ 花穂 ('07 10/16)

オオアブノメ *Graatiola japonica* Miq. [写真 21-1・2] ゴマノハグサ科

新潟：新潟市秋葉区阿賀浦大安寺 阿賀野川 5m:IS-417500 ('07 Photo-OL071016-22・23・38) [新津 5639-51-63]  
阿賀野川の砂取りで作られた止水域に2-3個体が生育している。



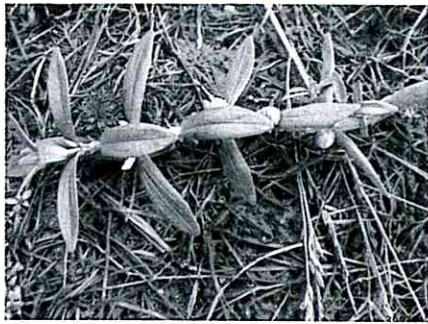


写真 21-1 オオアブノメ ('07 10/16)



写真 21-2 オオアブノメ 果実 ('07 10/16)

[在来種]

サジオモダカ *Alisma plantago-aquatica* L.var.*orientale* Sam. [写真 22]  
オモダカ科

新潟：新潟市秋葉区阿賀浦大安寺 阿賀野川 5m:IS-416635 ('07 Photo-OL071016-30・32) [新津 5639-51-63]

阿賀野川の砂取りで作られた止水域に数個体が生育している。



写真 22 サジオモダカ ('07 10/16)

ミズハコベ *Callitriche palustris* L. [写真 23-1・2・3]  
アワゴケ科

新潟：新潟市秋葉区阿賀浦大安寺 阿賀野川 5m:IS-417501 ('07 Photo-OL071016-39・3709-12) [新津 5639-51-63]

阿賀野川の砂取りで作られた止水域にわずかに生育している。



写真 23-1 ミズハコベ ('07 10/16)



写真 23-2 アワゴケ 果実 ×40 撮影 ('07 10/16)



写真 23-3 ミズハコベ 果実 ×50 撮影 ('07 10/16)

写真 23-1・2・3 ミズハコベとアワゴケの比較